

副業アカデミー FX講座

「ライン分析 基礎編」

本道場へ参加された方への配布を目的としております。
無断での使用、転載などを一切禁じます。

(1) 値動きについての基礎的な分析方法です

- ・参加者の意識が密集している価格帯は重要なポイントになる
- ・重要なポイントをラインを引き視覚化して分析する

(2) ラインには3種類あります

- ・水平線ライン：チャートに水平に引くライン
- ・トレンドライン：チャートに斜めに引くライン
- ・チャンネルライン：トレンドラインと平行に引くライン

参加者の心理状態を視覚化して判断しやすくするため
3種類のラインを引けるようになりましょう

1. ホリゾンタルライン
2. トレンドライン
3. チャネルライン
4. サポート、レジスタンスの定義

1. ホリゾンタルライン

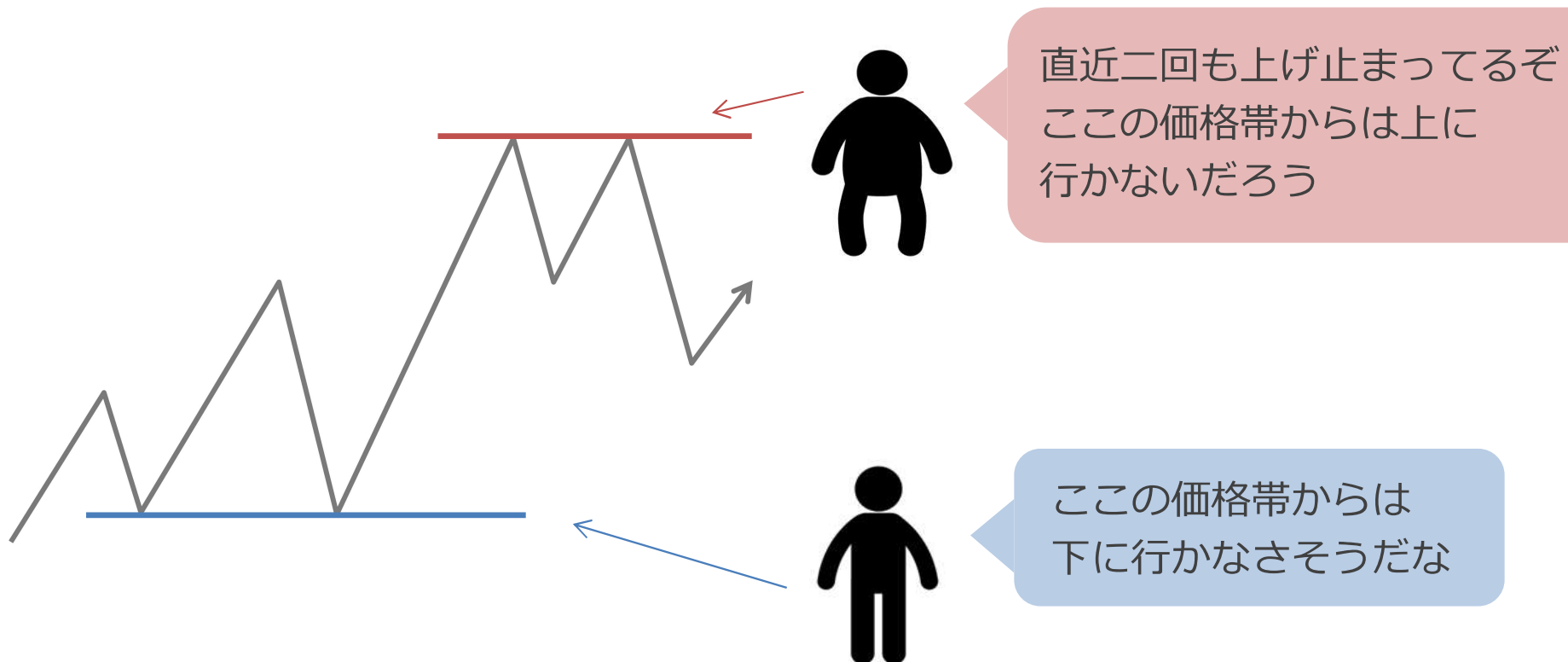
実態で引く

水平線とは？

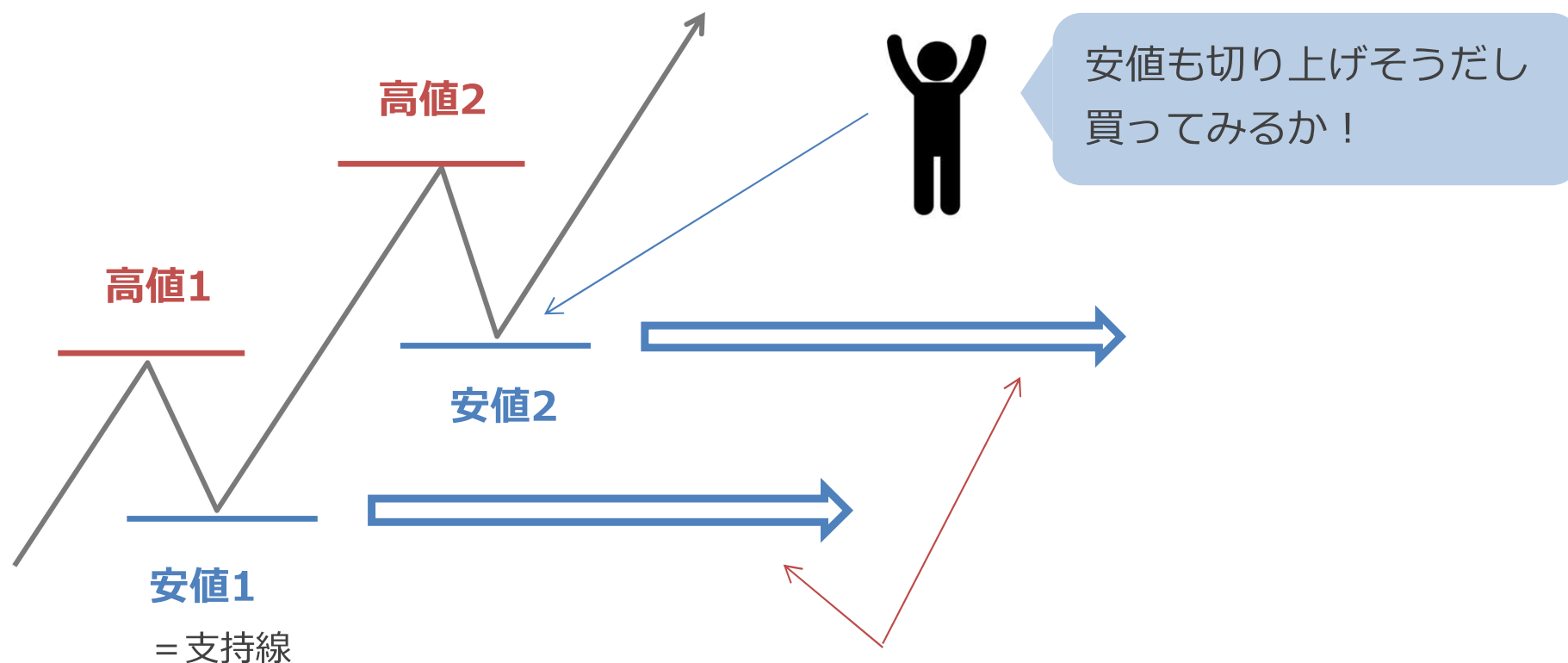
水平線は、チャートに水平に引くラインのこと

- ・水平線は、買い目線と売り目線が切り替わる分岐点になりやすい
- ・買い目線と売り目線によって**支持線**、**抵抗線**の2種類の呼び方がある

水平線は、参加者の売買目線の心理的な節目になる



2 - 1. 支持線



安値付近は買い目線の参加者の売買痕跡として意識が残る

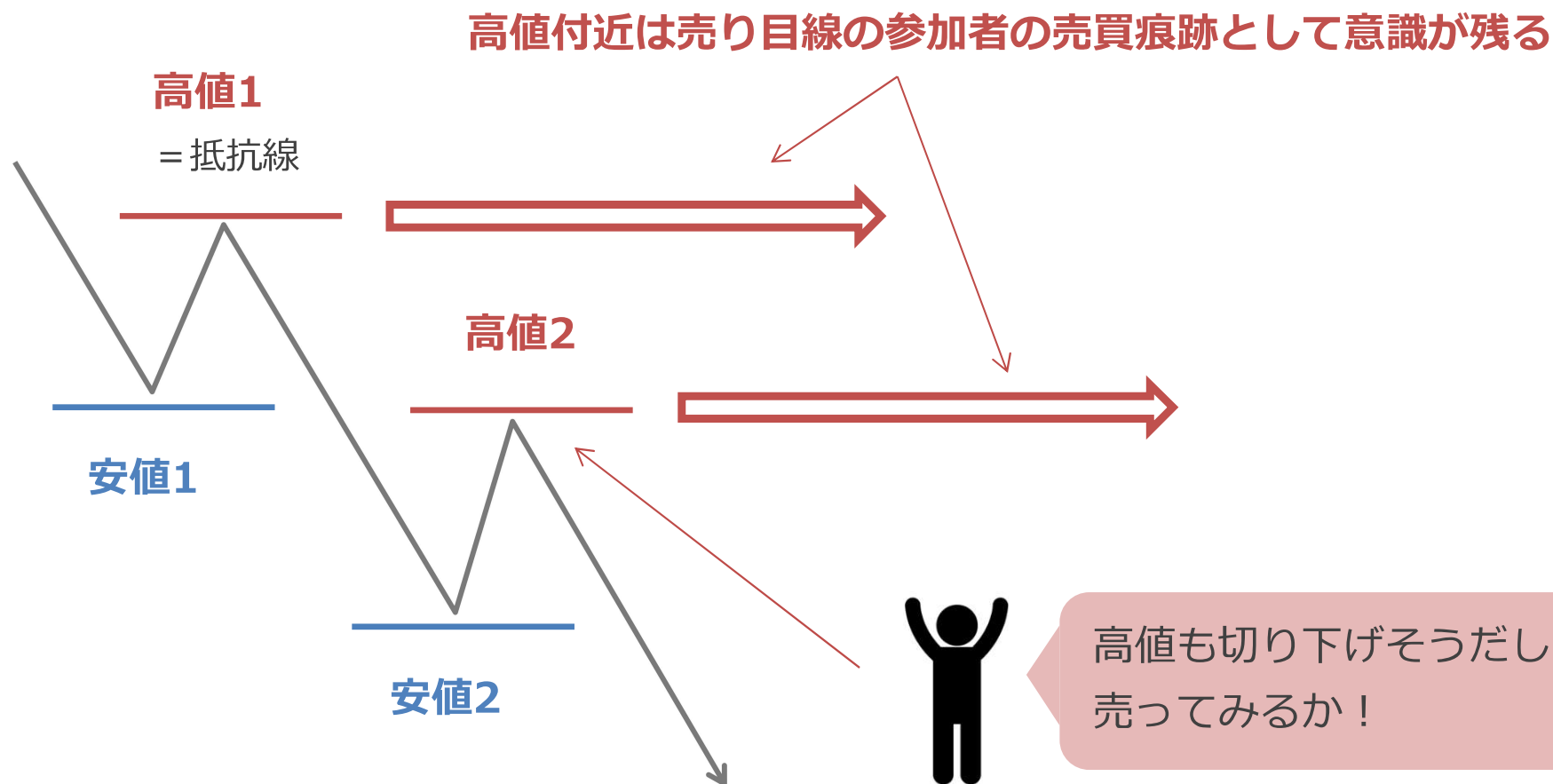
支持線は、買い目線の参加者の意識線になる

安値付近は、買い注文が密集していて買い目線の参加者の売買痕跡になります。

その安値付近は支持線として、その後も参加者から買い目線で意識されます。

下値支持線、サポートラインとも呼ばれます。

2-2. 抵抗線



抵抗線は、売り目線の参加者の意識線になる

高値付近は、売り注文が密集していて売り目線の参加者の売買痕跡になります。

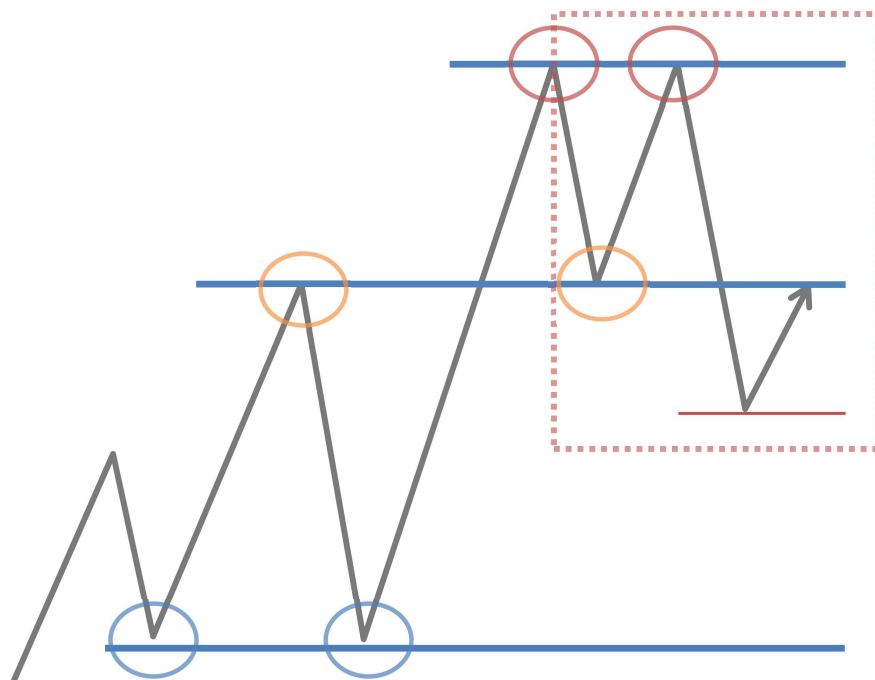
その高値付近は抵抗線として、その後も参加者から売り目線で意識されます。

上値抵抗線、レジスタンスラインとも呼ばれます。

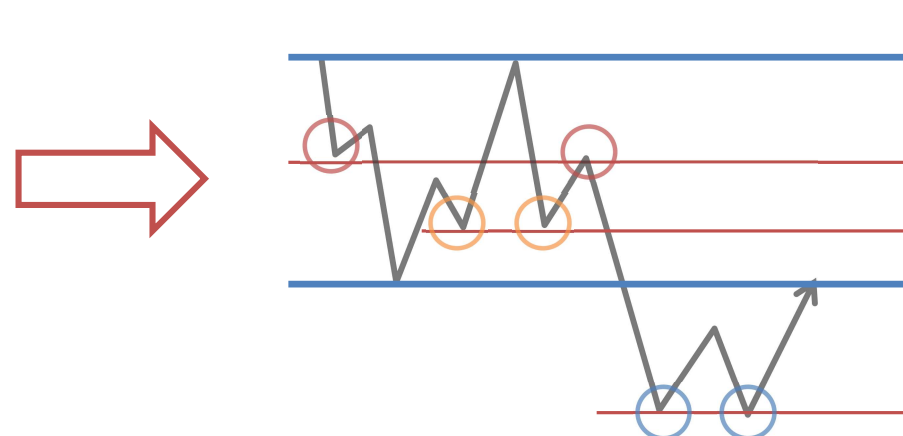
2-3. 引き方のコツ

始めの内は下記の2点を意識して、ホリゾンタルラインを引きましょう

日足



1時間足



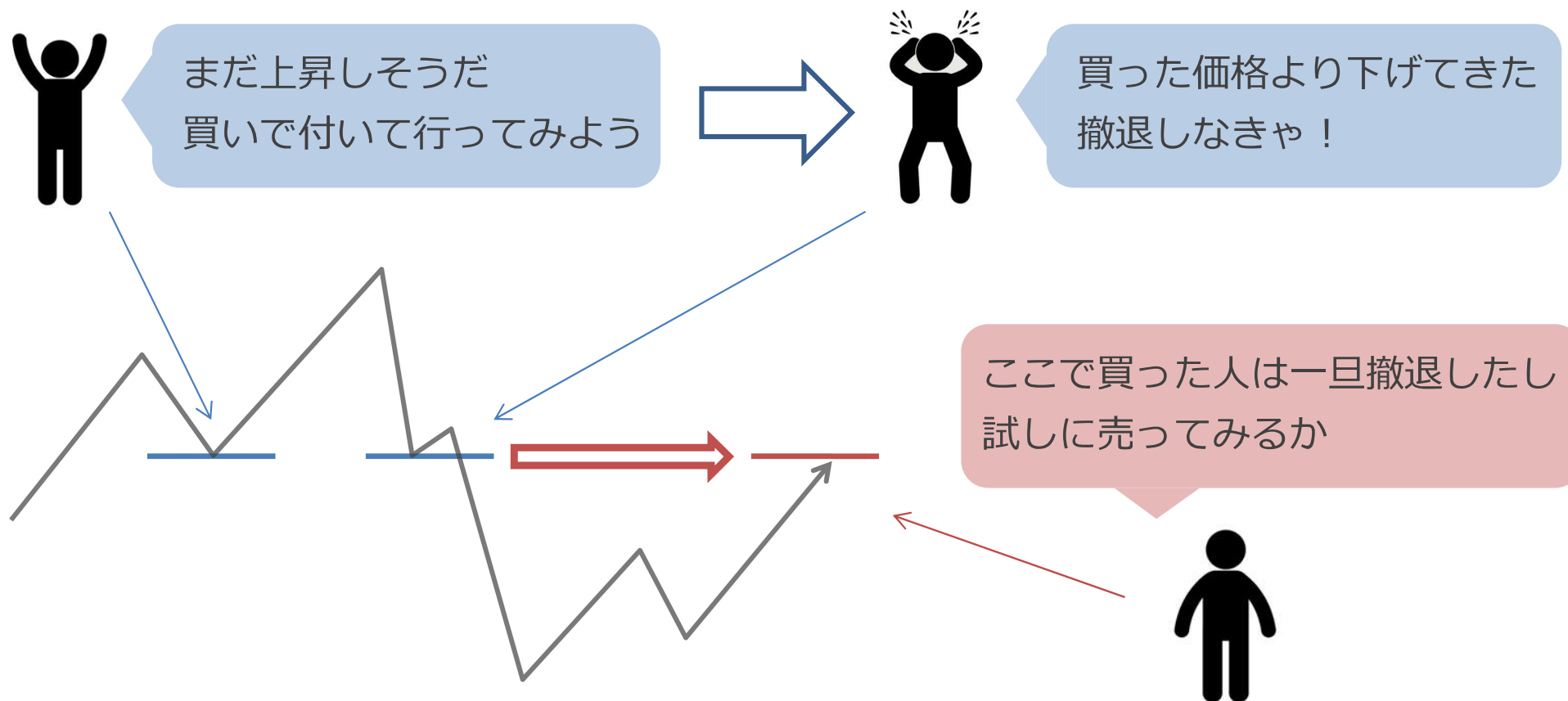
- 1 長い時間足→短い時間足の順で探す
- 2 2回以上価格が反転している安値と高値

ラインの強弱は、週足＞日足＞8時間足＞4時間足＞1時間足、の順

市場参加者は、5分足などの短い時間足より1時間足以上の長い時間足を重要視しています。

また、1回価格が反転した安値と高値よりも、2回以上価格が反転した安値と高値の方がより市場参加者が意識して見ているので、強いホリゾンタルラインになります。

2-4. ラインのブレイク



ホリゾンタルラインは、一度抜けると参加者の目線が切り替わる

上記の例では、買いの参加者が買った価格を下回ってしまい、買いの参加者は撤退させられて買いの意識が弱気に変化しています。一度支持線を下に抜けてしまったため、その価格帯を目安に売りの参加者が出現し始めます。

- ① **支持線** | 支持線は、買い目線の参加者の意識線になる
- ② **抵抗線** | 抵抗線は、売り目線の参加者の意識線になる
- ③ **引き方のコツ** | ラインの強弱は、週足＞日足＞8時間足＞4時間足＞1時間足、の順
- ④ **ラインのブレイク** | 支持線と抵抗線は、一度抜けると参加者の目線が切り替わる

2. トレンドライン

基本はヒゲとヒゲ

始点の実態でゾーンにする

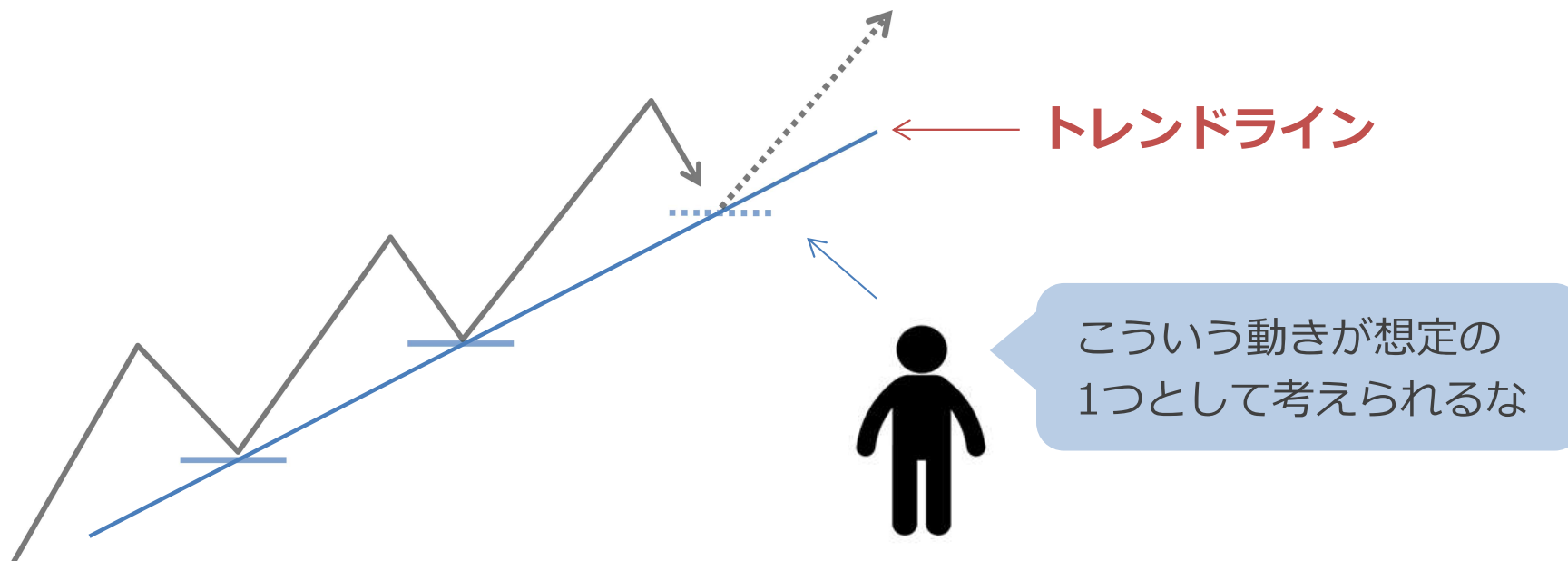
ゾーンが狭い場合は一段切り上げたローソク足の実態までをゾーンにする
もしくはチャンネルラインのヒゲと実態までの幅をトレンドラインに逆輸入

トレンドラインとは？

トレンドラインは、参加者が意識している値動きを判断できる

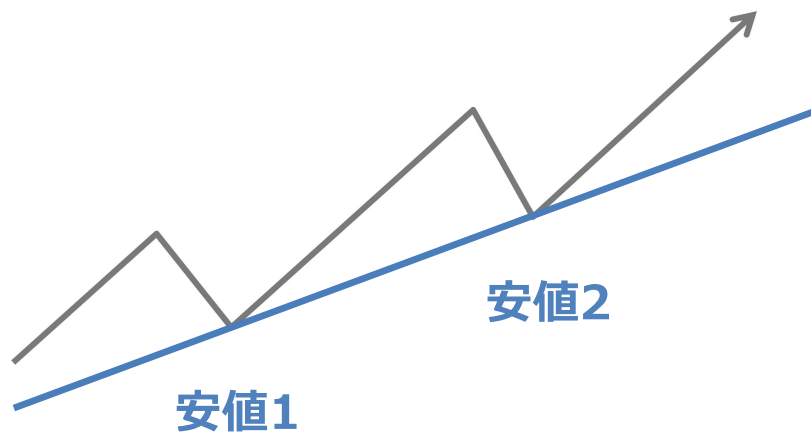
- ・トレンドは安値の切り上げなどで、角度を伴って推移する
- ・トレンドの角度を視覚的に判断しやすくするために、トレンドラインを引く

トレンドラインから、参加者が意識している
トレンドの値動きを想定することができる



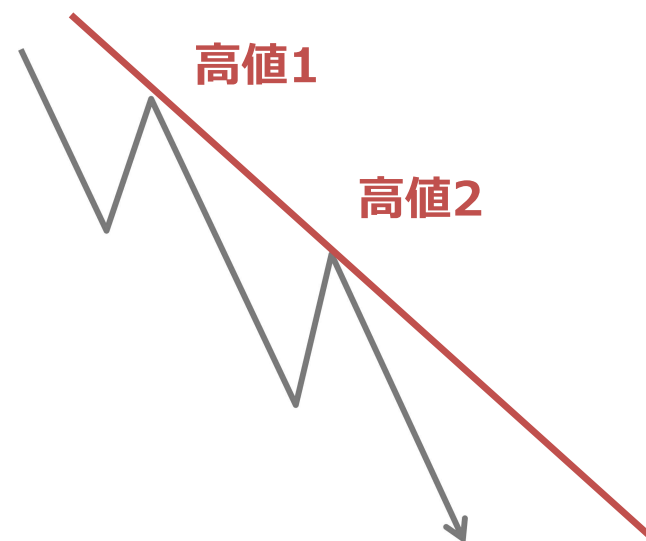
2-1. トレンドラインの引き方

上昇トレンド



上昇トレンドは
2点の安値を通るように引く

下降トレンド



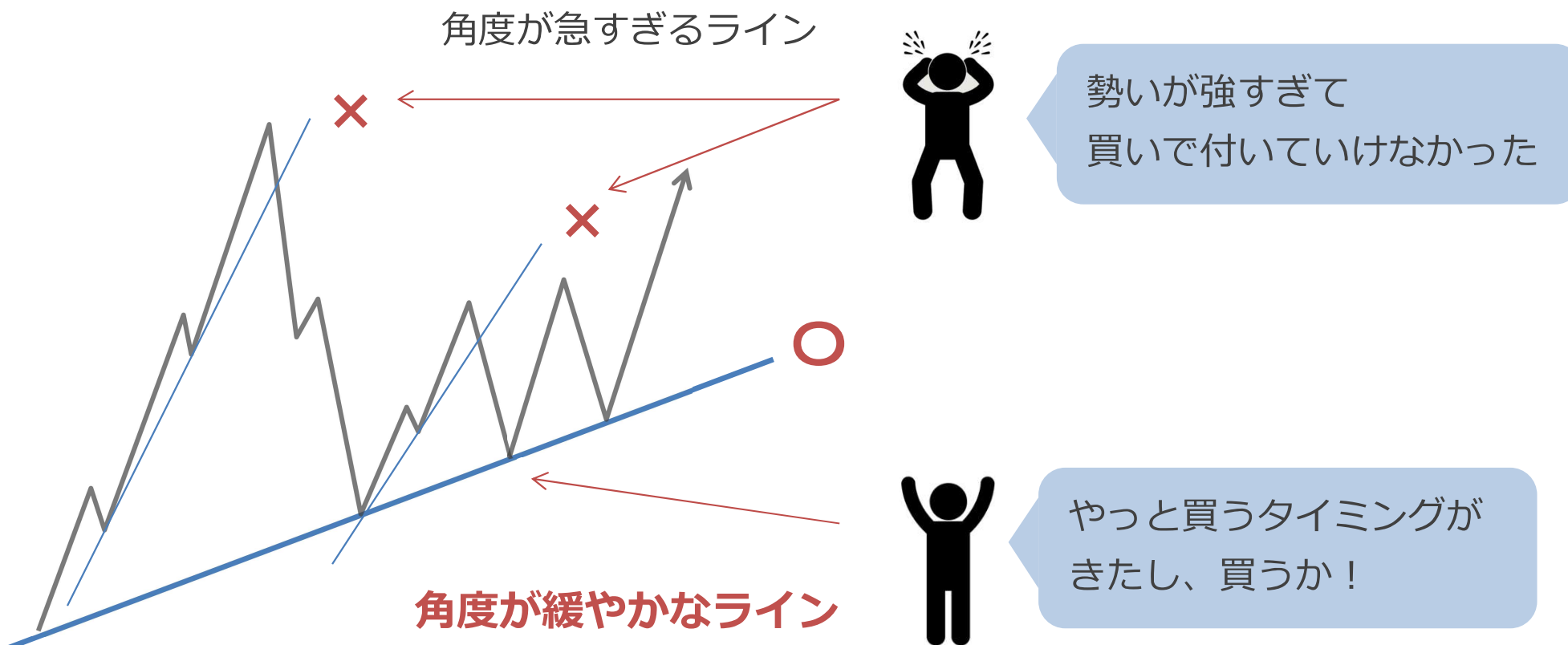
下降トレンドは
2点の高値を通るように引く

トレンドラインは2点の安値、高値があれば引ける

トレンドラインは、安値の切り上げ方、高値の切り下げ方、に注目したラインです。

安値の切り上げが2点形成された時点で、その切り上げ角度が買い目線の参加者が意識する売買痕跡となり、その後も意識され続けます。

2-2. 引き方のコツ①



トレンドラインは、緩やかな角度の方が継続性が長い

角度が強いと勢いも強いのですが、多くの参加者が付いていけない状態になります。

角度が緩い方は、一呼吸置いてその安値で買ってくる参加者が多くなるので、その後もサポートとして参加者に意識されやすくなります。

2-3. 引き方のコツ②

5分足



1時間足



短い時間足だけでラインを引いて判断しない

水平線と同じく、トレンドラインも長い時間足のラインの方が重要視されます。

短い時間足で下降トレンドのトレンドラインが引けたとしても、長い時間足では角度が急すぎるラインになりがちなので、ラインとしての継続性は短くなります。

2-4. トレンド判断のポイント

1時間足

5分足



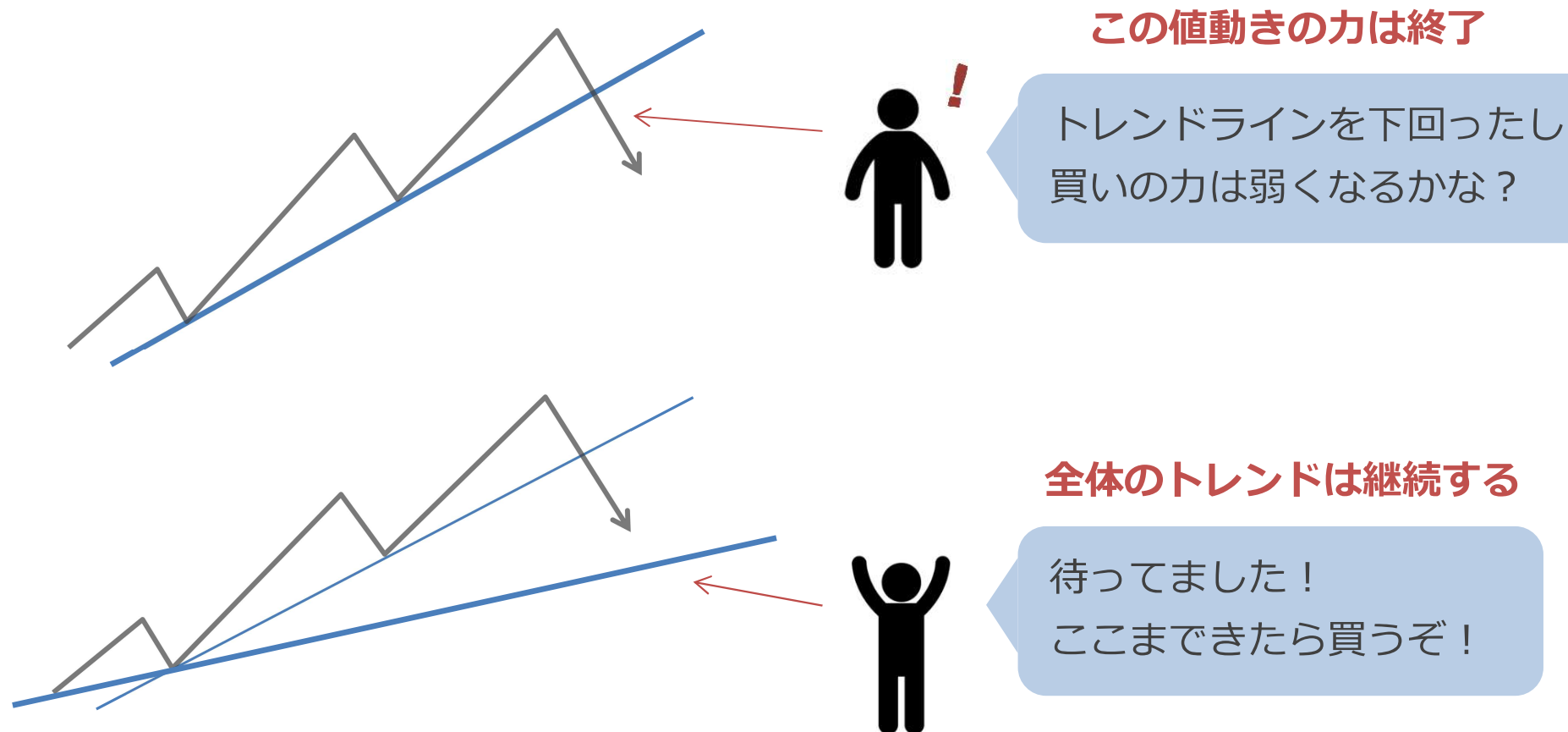
事前に右肩上がりの
トレンドラインが引けている



長短の時間足で、トレンドが一致しているか見る

短い時間足でも長い時間足と同じトレンドの方向でトレンドラインが引ける場合は、背景として既に市場参加者が上目線で控えている状態なので、短い時間足のトレンドラインでも参加者の意識は強くなります。

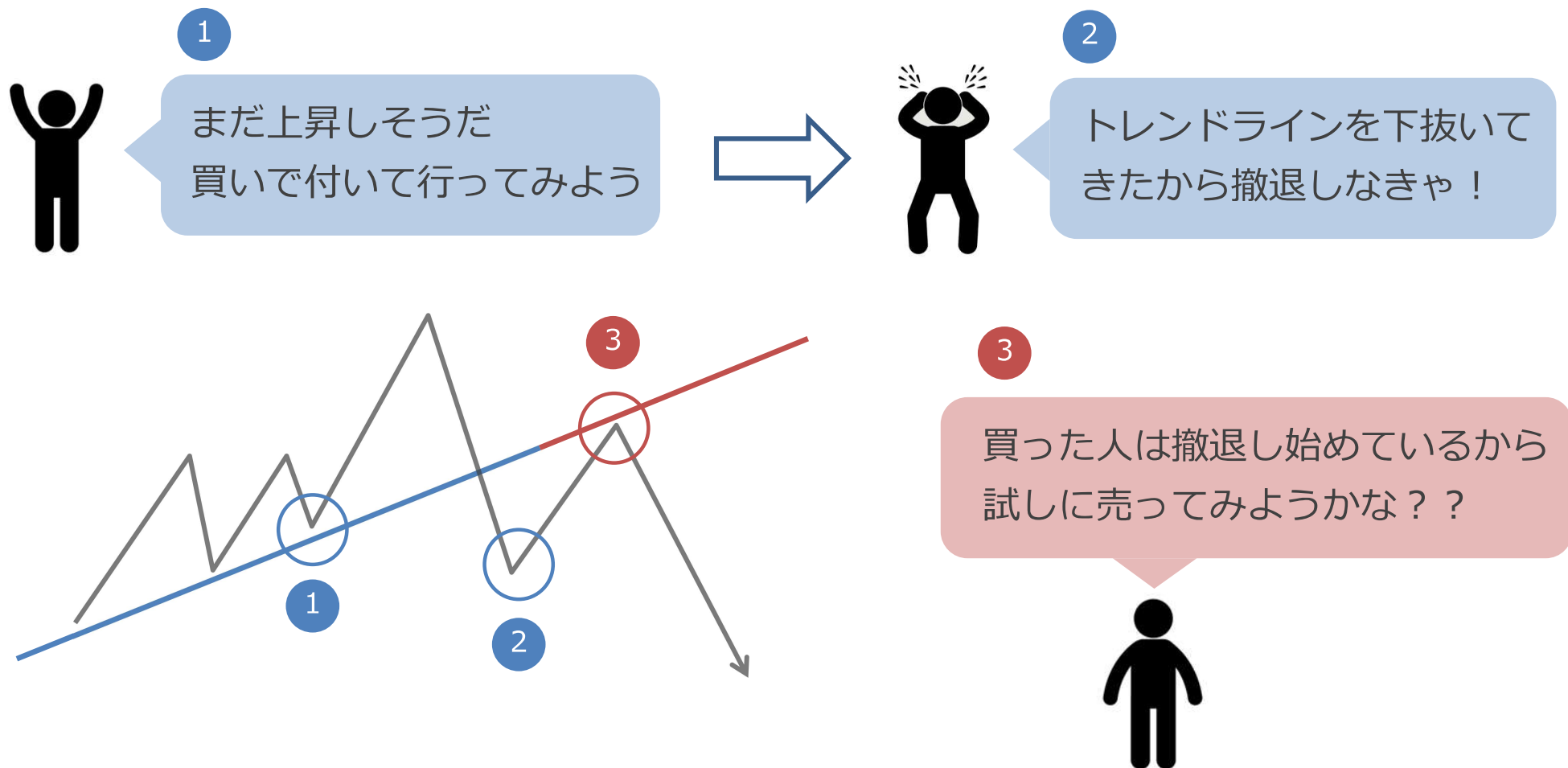
2-5. ラインのブレイク①



トレンドラインを抜けると、値動きの意識が弱くなる

トレンドラインは、明確に抜けると今まで意識されていた値動きの力は弱くなります。ただし、別に角度の緩い方のトレンドラインが控えている場合は、その角度を意識した参加者も一定数いる状態なので、全体のトレンドがすぐに終了するわけではありません。

2-6. ラインのブレイク②



トレンドラインラインも、一度抜けると参加者の目線が切り替わる

P9で水平線の場合を説明していますが、トレンドラインでも同じです。

上記の図の様に、そのラインを目安にエントリーしていたプレイヤーが撤退する動きの後に反対勢力のプレイヤーが出現するからです。

- ① **トレンドラインの引き方** | テンドラインは2点の安値、高値があれば引ける
- ② **引き方のコツ1** | テンドラインは、緩やかな角度の方が継続性が長い
- ③ **引き方のコツ2** | 短い時間足だけでラインを引いて判断しない
- ④ **トレンド判断のポイント** | 長短の時間足で、トレンドが一致しているか見る
- ⑤ **ラインのブレイク** | テンドラインを抜けると、値動きの意識が弱くなる

3. チャネルライン

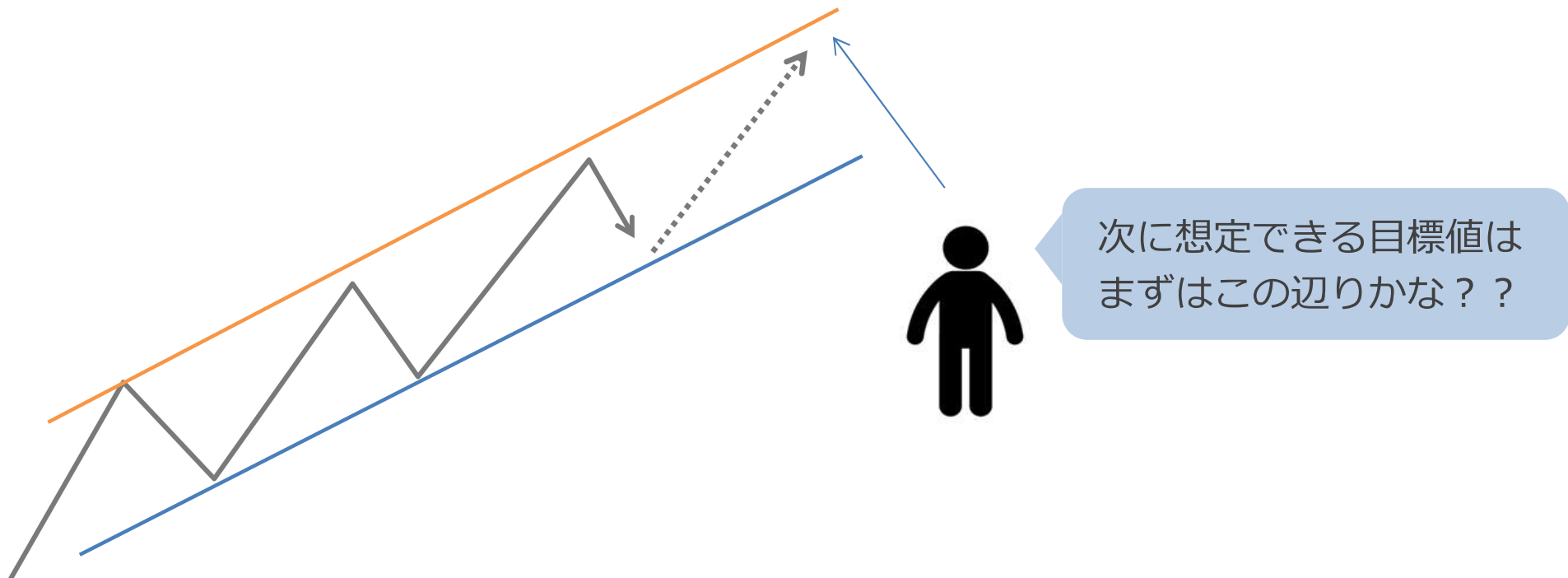
ヒゲに合わせて、ヒゲがゾーンの中にはいるように

チャネルライン とは？

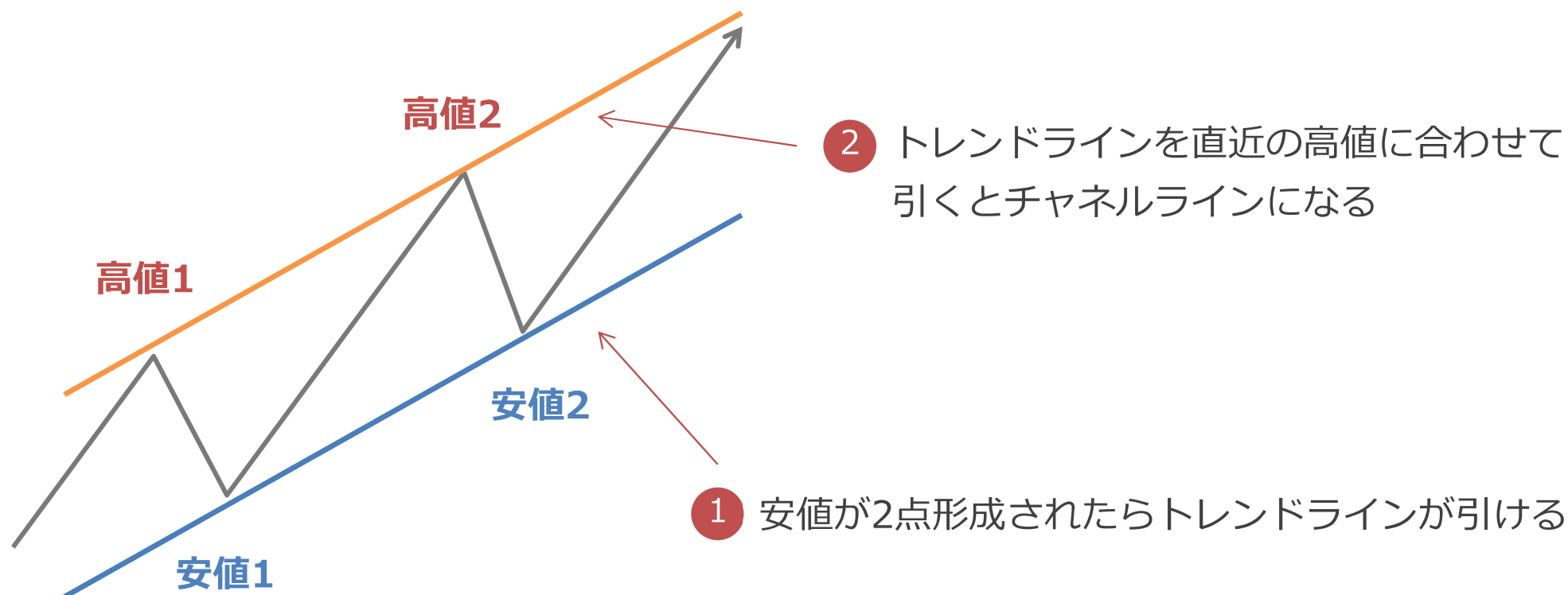
チャネルラインは、価格が一定範囲内で値動きする際の目安になる

- ・トレンドラインと平行なラインを引くとチャネルラインになる
- ・値動きは、トレンドラインとチャネルラインの範囲内で動くことが多い

チャネルラインから、参加者が意識している
値動きの目標値を想定することができる



3-1. チャネルラインの引き方

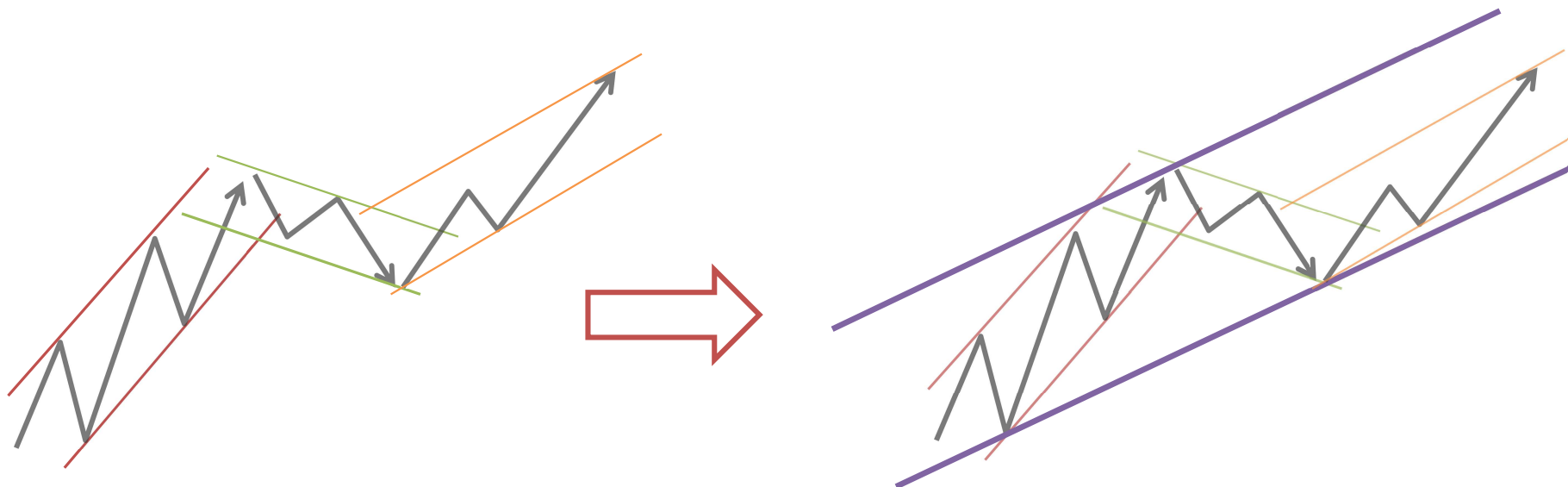


チャネルラインは、トレンドラインとセットで引く

トレンドラインは、安値の切り上げ方、高値の切り下げ方、に注目したラインです。

安値の切り上げが2点形成された時点で、その切り上げ角度が買い目線の参加者が意識する売買痕跡となり、その後も意識され続けます。

3-2. 引き方のコツ



角度が急すぎるチャネルラインを
引いても継続性が短い

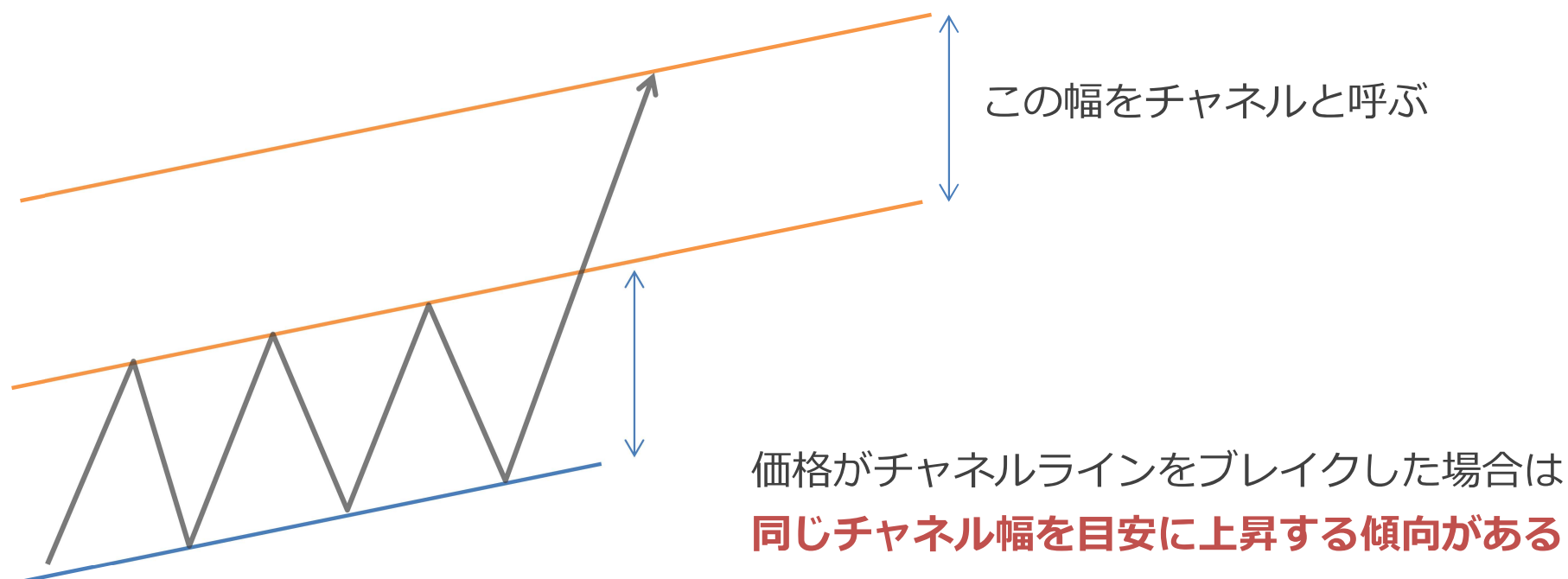
**角度の緩やかなチャネルラインを
引くようにする**

角度の緩やかなチャネルラインは、値動きの大きな流れを想定できる

チャネルラインも角度が急すぎるラインで引くと継続性が短くなります。

なるべく緩やかな角度のチャネルラインを引き、継続性の長いチャネルラインが引けると
大きい値動きの範囲を読み取ることができます。

3-3. ラインのブレイク



チャネルラインを上抜けたら、同じ幅が上昇の目安になる

チャネルラインのブレイク後の注意点として、ブレイクしても参加者の買いと売りの目線が切り替わる事はありません。元々トレンドラインと同じ方向を向いたラインなので目標値として意識されていても、抵抗線として強く意識されていたわけではないからです。

チャネルライン まとめ

- ① **チャネルラインの引き方** | トrendラインは2点の安値、高値があれば引ける
- ② **引き方のコツ** | チャネルラインは、緩やかな角度の方が継続性が長い
- ③ **ラインのブレイク** | チャネルラインを上抜けたら、同じ幅が上昇の目安になる

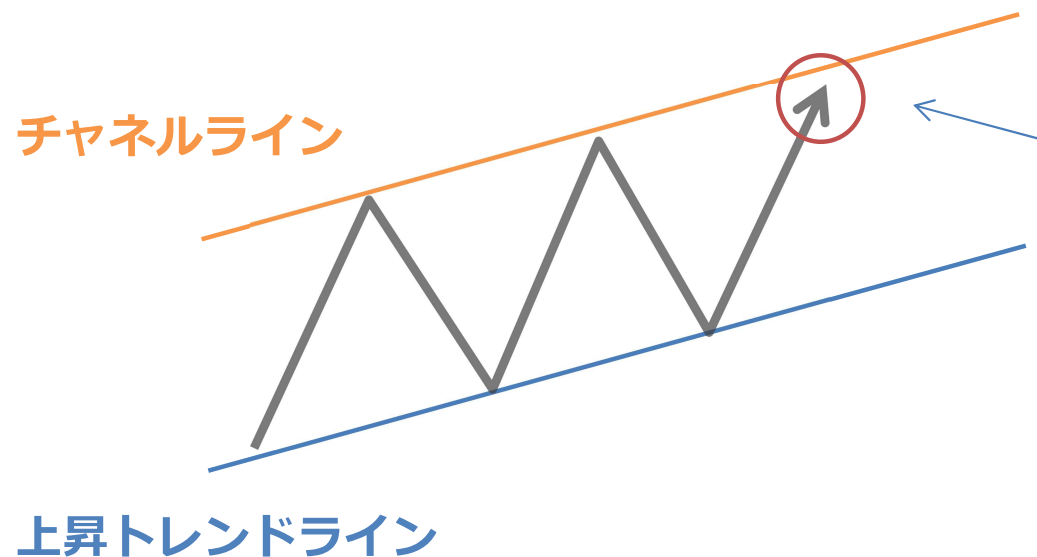
4. サポート、レジスタンスの定義

サポート、レジスタンスの定義 について

ラインの種類によってサポート、レジスタンスの性質は違う

- ・特にトレンドラインとチャネルラインは似ているので勘違いしやすい
- ・右肩上がりのラインか右肩下がりのラインか、によっても性質は異なる

下記のように、それぞれのラインの違いを理解していないと
新規エントリー、利確、損切りなどの判断ミスをする



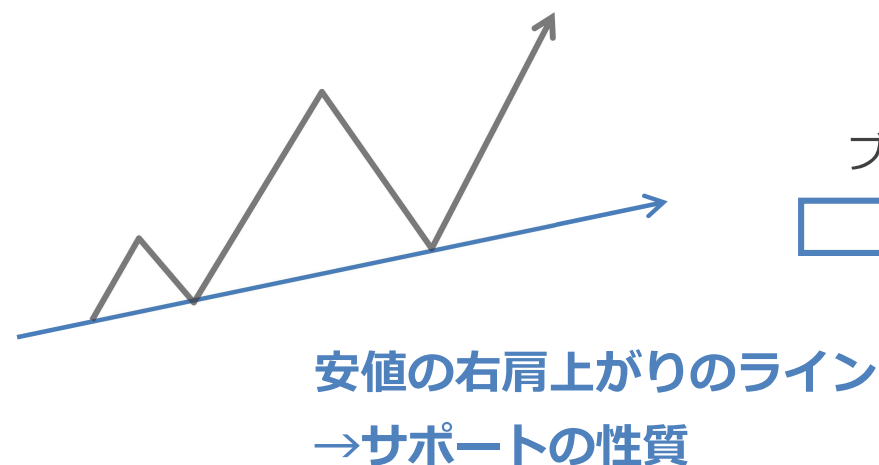
この判断は適切？

チャネルラインに到達してきたから
新規で売ってみようかな??

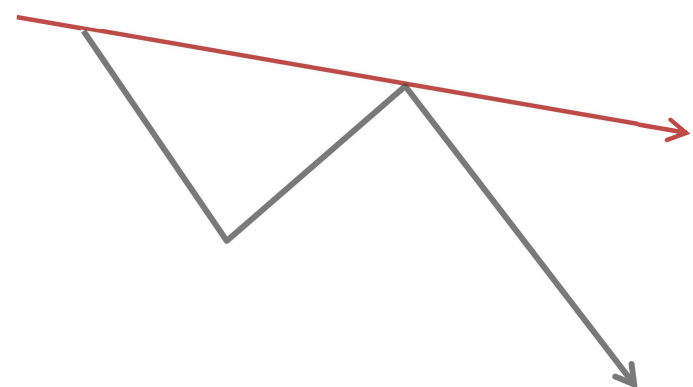
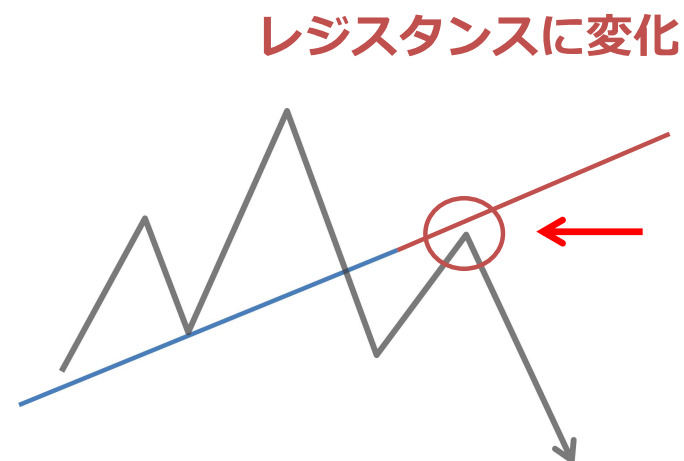


4-1. トレンドラインの性質

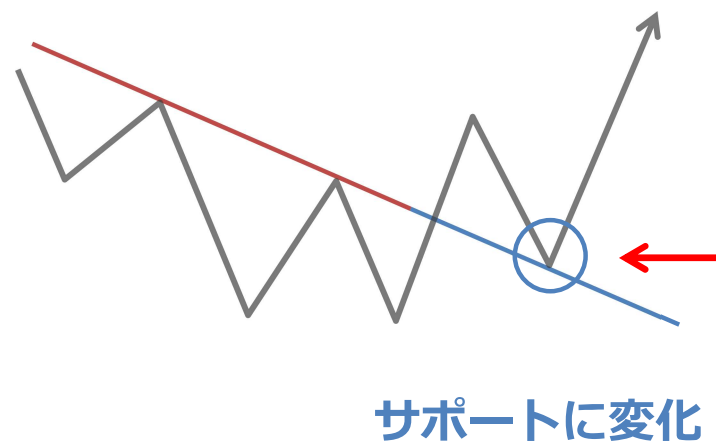
トレンドラインのサポート・レジスタンスの性質は強い ※P18を参照



ブレイク



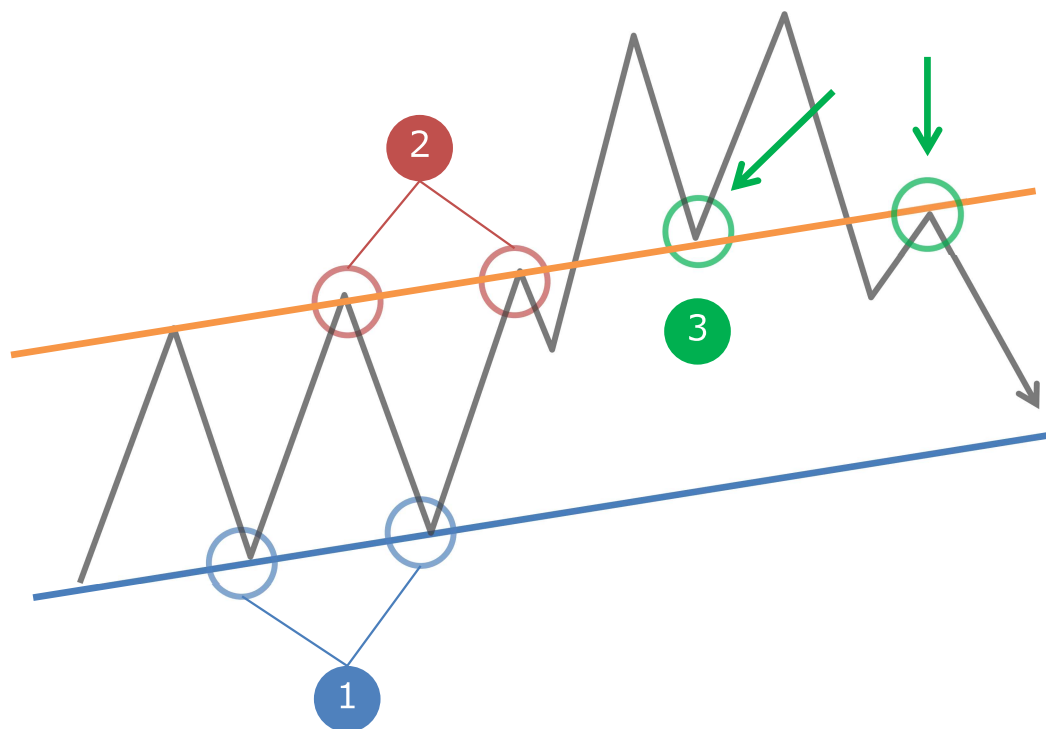
ブレイク



4-2. チャネルラインの性質

チャネルラインのサポート・レジスタンスの性質は弱い

- 1 安値の右肩上がりのラインは新規買いの目安になる → **サポート**
(上昇トレンドライン)
- 2 高値の右肩上がりのラインは利確売りの目安になる **≠ レジスタンス**
(チャネルライン)

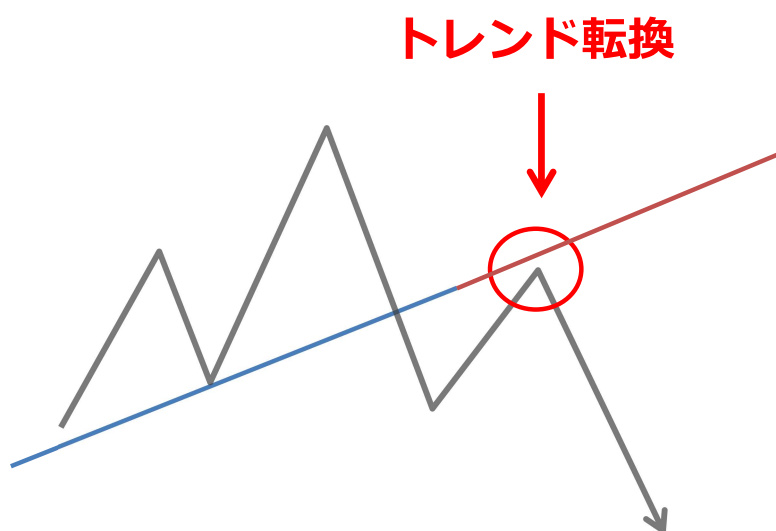


チャネルラインをブレイクしたら
性質変化はするが力は強くない

4-3. トレンド加速、転換の違い①

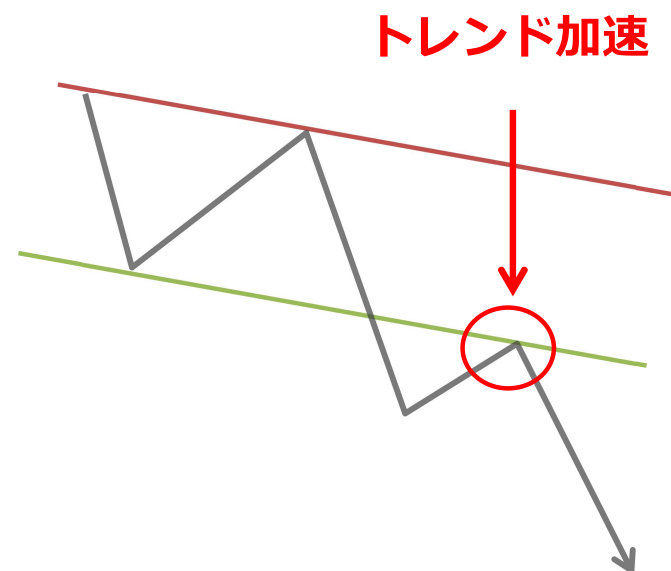
ラインをブレイクしたあとのアクションの違い

① 買い → 売りに力が変化する場合



- ・トレンドラインのブレイク
 - 新規エントリーしているプレイヤーにとって撤退すべき動きになる
 - 反対勢力が出現して転換しやすくなる

② 売りの力が加速する場合



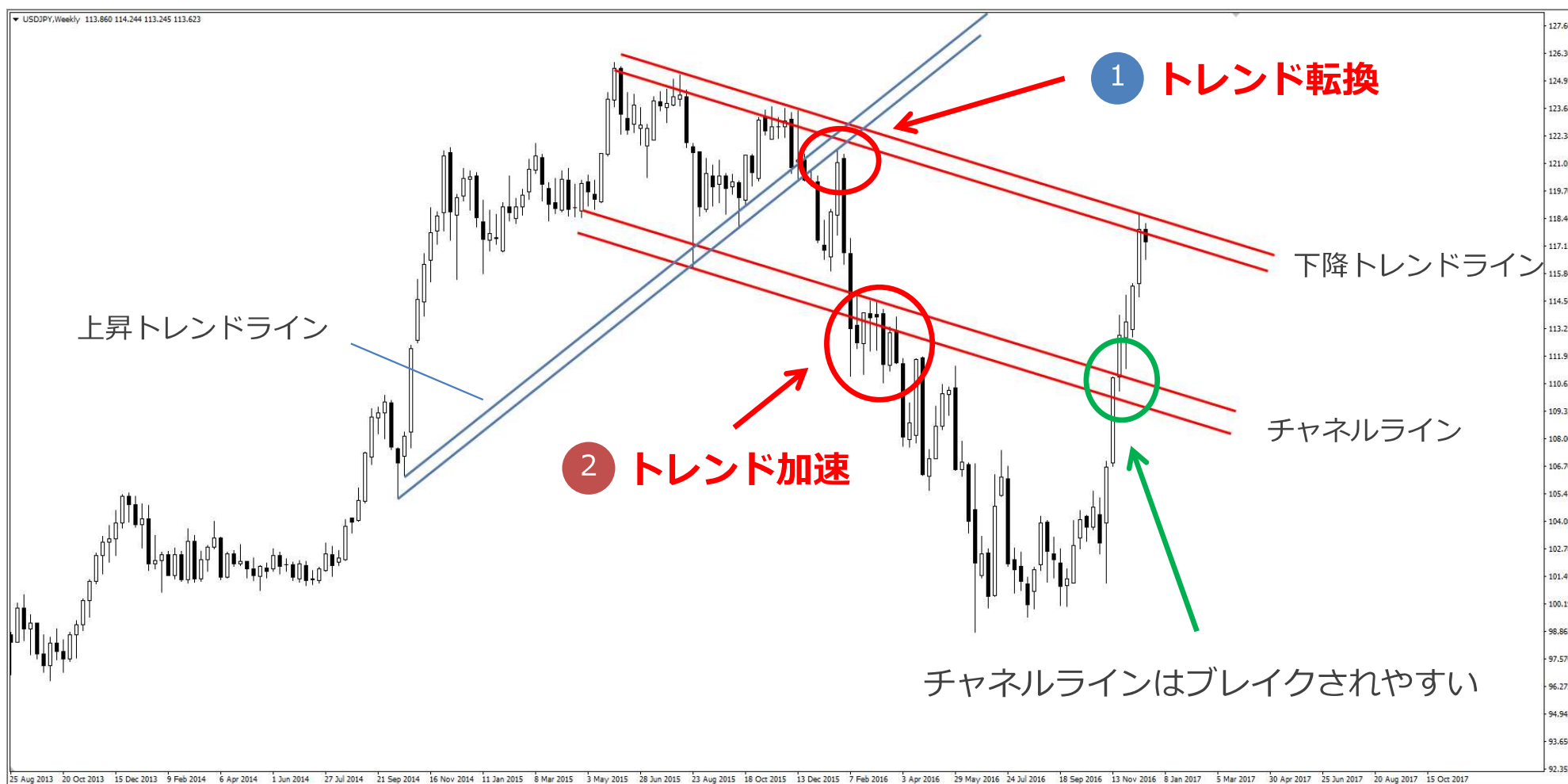
- ・チャネルラインのブレイク
 - 新規エントリーしているプレイヤーにとってさらに有利な動きになる
 - 同じ勢力が加わり加速しやすくなるが
反対勢力は積極的に逃げてはいない

4-4. トレンド加速、転換の違い②

トレンド加速、転換の起きるタイミングの違い

① 買いから売りに力が変化するタイミング → 先に発生する

② 売りの力が加速するタイミング → 後から発生



サポート、レジスタンスの定義 まとめ

- ① **トレンドラインの性質** | サポート・レジスタンスの性質は強い
- ② **チャネルラインの性質** | サポート・レジスタンスの性質は弱い
- ③ **トレンド続伸、転換の違い①**
 - ①トレンドラインのブレイク →トレンド転換
 - ②チャネルラインのブレイク →トレンド続伸
- ④ **トレンド続伸、転換の違い②**
 - ①買いから売りに力が変化するタイミング →先に発生する
 - ②売りの力が加速するタイミング →後から発生